

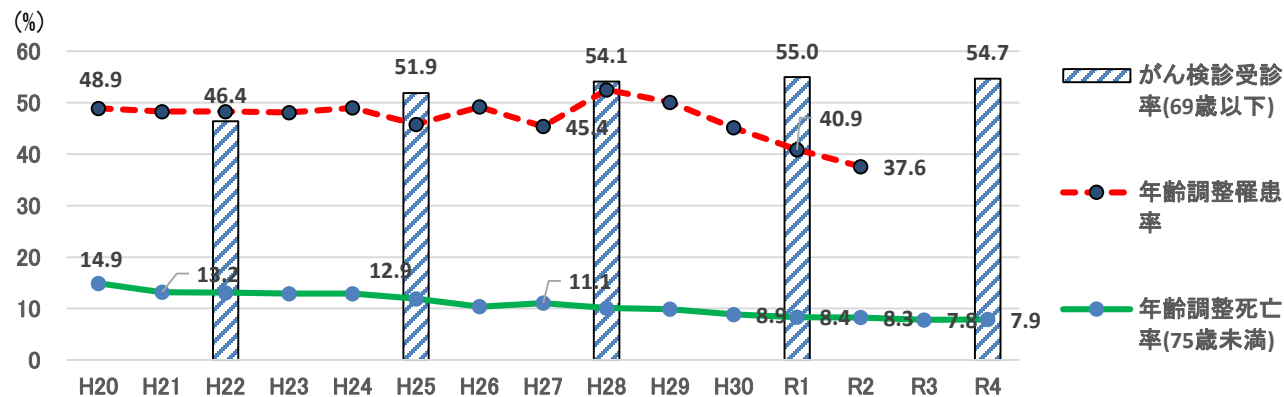
5大がん部位別年齢調整死亡率及び罹患率、受診率の推移(新潟県)

資料No.1-4

年齢調整死亡率(75歳未満)、年齢調整罹患率、受診率(男女計)

※年齢調整死亡率(75歳未満)及び年齢調整罹患率は人口10万対

【胃】

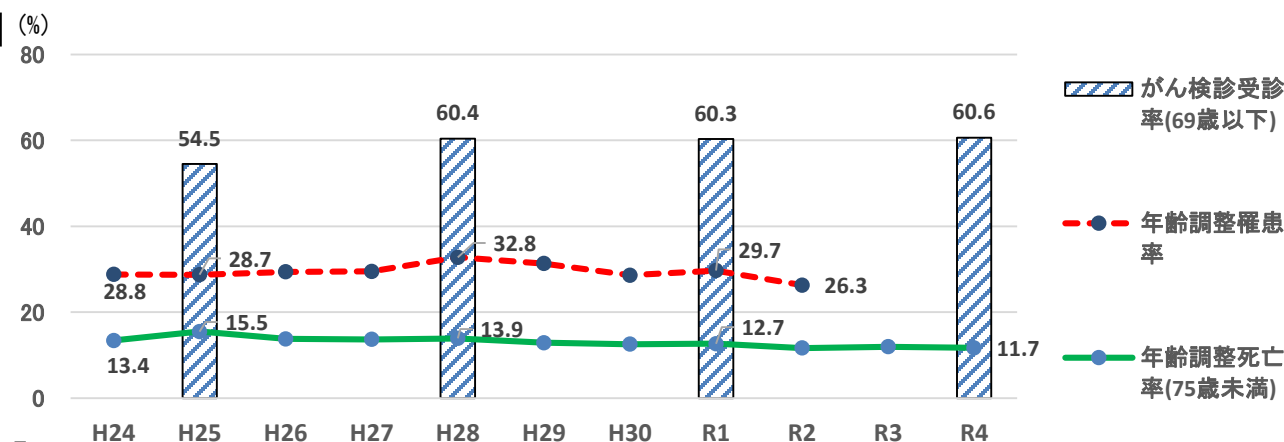


【胃がん】

・検診受診率は横ばい～増加傾向にあり、罹患率は低下。死亡率12.9%(H24)→7.9%(R4)へと減少

⇒胃がんについては着実に死亡率が減少しており、引き続き受診率の向上に取り組む。

【肺】

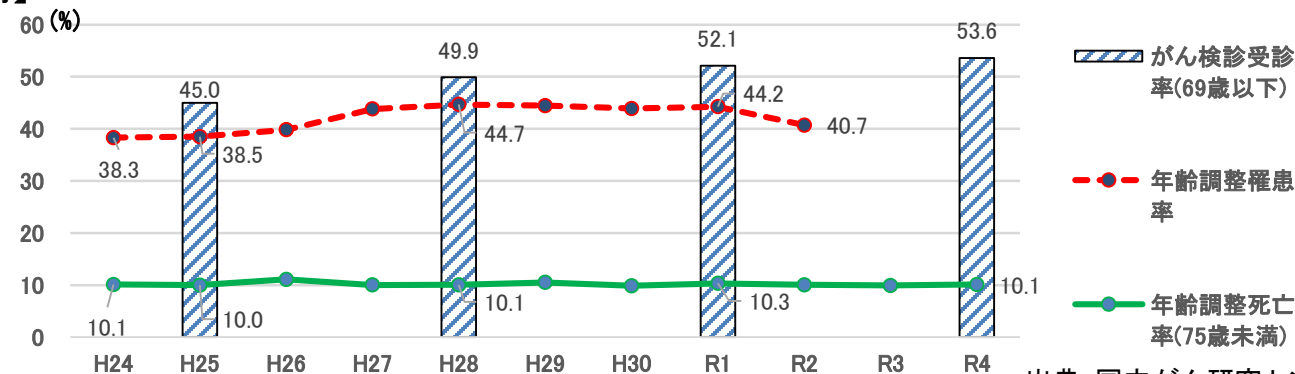


【肺がん】

・検診受診率は60%を超えており、死亡率は13.4%(H24)→11.7%(R4)へと減少

⇒引き続き喫煙の防止等により、肺がんの予防に取り組んでいく必要がある。

【大腸】



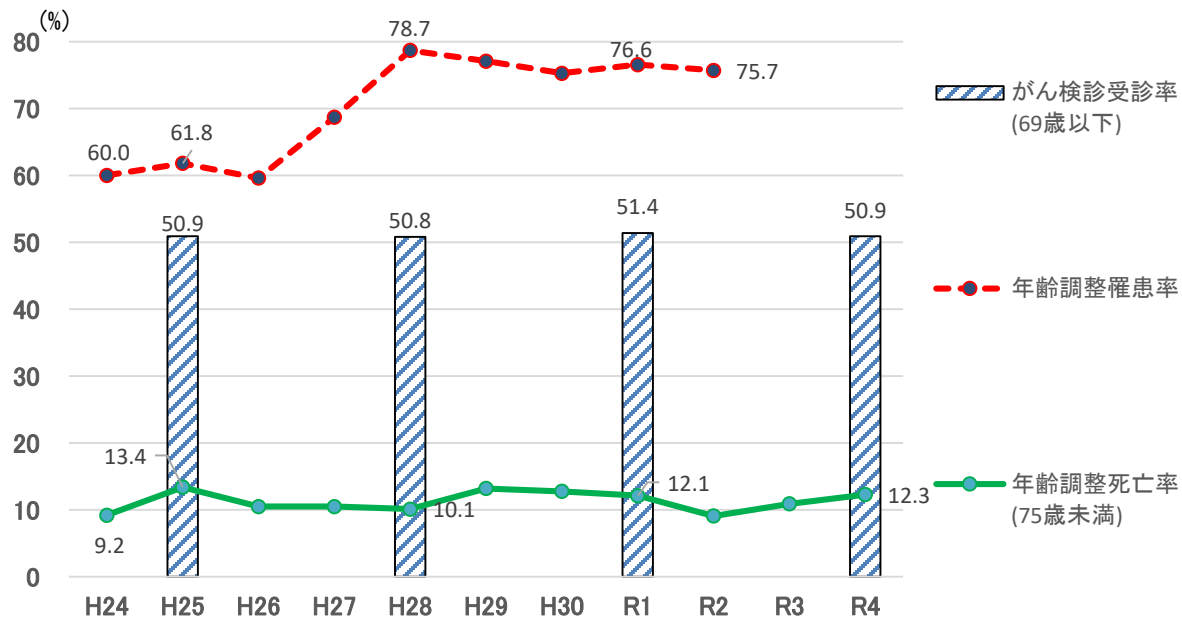
【大腸がん】

・検診受診率が増加している一方で、死亡率は横ばいとなっている。

⇒生活習慣の改善による予防及び受診率の向上に取り組む。

5大がん部位別年齢調整死亡率及び罹患率、受診率の推移(新潟県)

【乳】

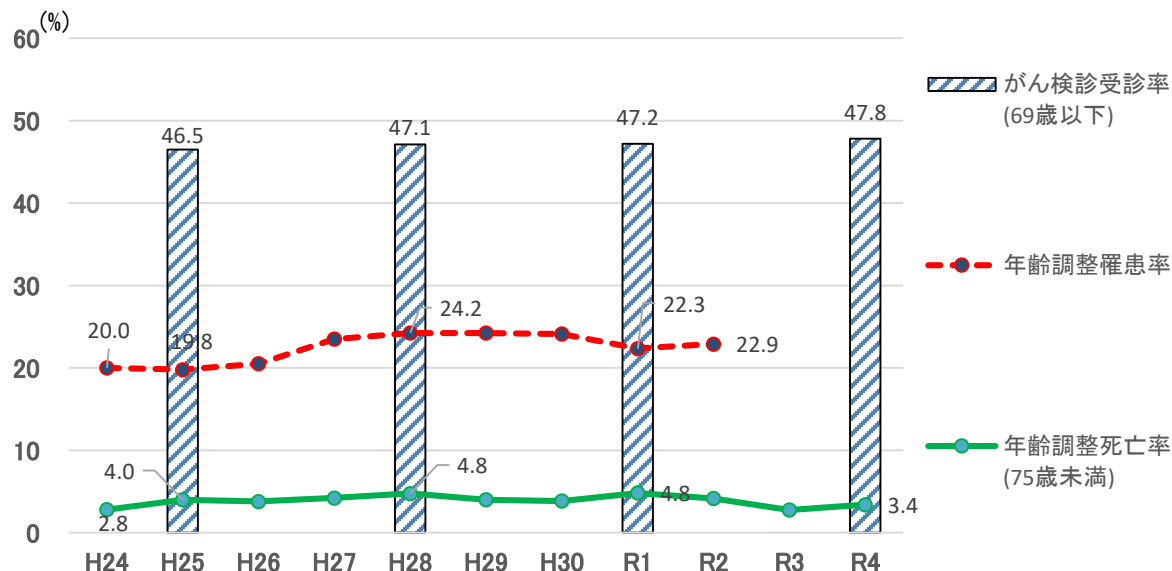


【乳がん】

- ・検診受診率は50%を超えており、罹患率が増加している。死亡率は9.2% (H24) → 12.3% (R4) へと増加

⇒がん検診受診率の向上及び、市町村と協力したブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の普及啓発に取り組む。

【子宮】



【子宮がん】

- ・検診受診率、罹患率ともに増加しており、死亡率は年度によって変動はあるが横ばいとなっている。

⇒受診率の低い若年女性のがん検診受診率の向上等により、がんの早期発見に取り組む。